

# ぬ

**ぬあげ** 縫いあげ [用例] 肩ヌアゲ 腰ヌアゲ言うて 子供のきもん (着物) に、つけよおった (つけて居ました)。

**ぬいいと (ぬひいと) (縫糸) 【名詞】** 布を縫い合わせるのに用いる糸。裁縫用の糸 (阿) [会話] ヌイイト言うな (のは) 糸、ミシン糸も あや (有れば)、木綿糸も いろいろ有るやんかい (有ります)。かたん糸や (だ) とか、皆 そいなのおを (そんなのを) ヌイイト 言うのなあ (です)。ヌイイト言うて 主に木綿糸なあ (です)。白糸と黒糸と 絹糸やどきやだ (などは) きぬもん (絹物) すんのん (するのに) 縫いおったけどなあ (縫って居ましたが)。

**ぬいさし (ぬひさし) (縫止) 【名詞】** 縫いかけて途中でやめること。又その物。[会話] ヌイサシ 言うのは、縫うて 置いてあんのを (有るのを)、ヌイサシといて (ておいて) 忙して 用事な (が) 有って いてきたんよお (行って来ました) とか、畑い (に) 行かんならん (行かぬばならない) もんで (ので) まあ ヌイサシといて 行て来たんよお 言うの (のです)。きまらんと (終らずに) 縫うて 途中で ほっとく (ほおっておく) 事を。完全に きまらへんのをなあ (終らないのを)。

**ぬいごと (ぬひごと) (縫仕事) 【名詞】** 裁縫 (上、阿)

**ぬいばり (ぬひばり) (縫針) 【名詞】** 縫い物に用いる針。[会話] ちゃぼ針を ヌイバリなあ (です)。長針言うな (のは) ちよいと (少し) くけたり、おそい すんのん (するのに) 使うしな。ヌイバリ 言うな (のは) 短かいなあ、ちゃぼばり 言うね (言うのです)。

**ぬいもん (ぬひもん) 【名詞】** 縫紋。刺繍で表した紋。次項 ぬいもん参照

**ぬいもん (ぬひもん) 【名詞】** 縫物。針仕事 ぬいもの 衣服などを縫う事。裁縫。(鈴市、伊賀地方、尾) [会話] 紋付 ヌイモン (縫紋) にして言うて、紋付紋を ヌイモン 言うのも有るし、裁縫しとんのおを (しているのを) ヌイモン (物) しとる (して居る)。裁縫しとる 針仕事、

**ぬうるい 【形容詞】** ぬるい。1) なまあたたかい 2) 傾斜がゆるい 3) 動作が鈍い 4) 馬鹿 [会話] 2) ヌウルイ坂を だらだら坂。

**ぬががす** 1) 脱がす きもんヌガカス (着物を脱が

す) 2) 脱ぐ

**ぬかしやがって** 言うての卑語 ぬかすねど参照

**ぬかす (吐) 【他サ五】** 言うの意味で動作をいやしんで言う語。言いやがる。ぬかした。(志 (浜島、鶴方)、鳥 (加茂、坂手)) [会話] そいな (そんな) 事 ヌカス言うて、そいな事 言うて (言うて) 言うんけど なあ (言うののです)。ヌカス言う時は、腹な (が) 立つ時、ごおなわいて (腹が立って)、わり (悪い) 言葉を むこおの人が 言うもんで (ので) そんで (それで) こちらの人な (が) そいな事 ヌカス 言うて 言うのなあ (のです)。

**ぬかす (抜)** 追い越される。追い抜く

**ぬかすな** 1) 言うな 2) 追い越させるな

**ぬかすねど** ぬかすを更に強調した語。言うのだ。[会話] なにを言うのや (だ) 言うのをな、腹が立つとる時や (は) なん (なに) ヌカスネド 言うて。わり (悪い) 言葉 使かわれた時に そお 言うんやわ な (言うのです)。ヌカスネナイ (言うのだ) 言うて 悪い言葉を使うもん (の) で それを いろいろと ぬかして ヌカシヤガッテ 言うてなあ ぬかす言う時や (は) ごおなわいとる (腹の立っている) 時んなあ (に) 言う言葉や (です)。

**ぬかすねない** 言う、言うのだの卑語。ぬかすねど参照 [会話] ヌカスネナイ 言うて、腹な (が) 立つ時や なあ (です)。

**ぬかづけ (糠漬) 【名詞】** 糠で漬けた漬物。(度、南) [会話] 大根のヌカヅケとか、なあ (菜) を ヌカヅケン (に) するとか、漬もん (物) の事なあ (です)。

**ぬかつとる** 間が抜けて居る。失敗している。[会話] わがと (自分) ヌカッソナ (ているのは) 知らんと (ずに)、おや (俺は) ぬすで (盗んで) かずいて (担って) 来た おもて (思って) しとるもんで (しているの) 人間でも ヌカッソル人を 熊やれ (だ) 言うて。

**ぬからかす 【他サ五】** 言うの罵語。

**ぬからかす 【他サ五】** 抜く (鈴市、安、津)

**ぬからかす 【他サ五】** 失敗する。

**ぬからん** 抜け目が無い。(志 (布施田))

**ぬかり (抜) 【名詞】** 失敗。手落ち。

**ぬかる (抜) 【自ラ五】** 気づかないで失敗する。間が抜けて居る。

**ぬかろくふくびん**【俚諺】精力絶倫 [会話] スカロク  
フクビン。ぬかんと(抜かずに)六つして、拭いたや  
(たら)びいんと 立ったんでない(たそうです)。

**ぬき**【名詞】軒を出すための木。柱と柱の間の棟木(上、  
阿)

**ぬき(貫)**【名詞】かんぬき

**ぬきみ(抜身)**【名詞】1) 陰茎を露出している事。コ  
ンドーム等にて保護しないでそのまま性交する時に言  
う。2) 全裸 [会話] 2) 裸でおると(居ると)あや  
れ、ヌキミでまあ言うて。ヌキミん(に) になった言う  
て 裸ん(に) になった事を。裸でちんぷらりん(下着  
無し)でおると(居ると)おおた、あやれ ヌキミで  
おんない(居る)言うてなあ。

**ぬきや**【名詞】意味不明 [会話] ヌキヤい(へ)行く  
と ちょいと(少し) 焦げくそ(くさく) になって 来  
るやがな(来るでしょう)。

**ぬくい(温)**【形容詞】暖い 温い あったかい ぬく  
とい。ぬきたい参照(志、鳥(国崎)、桑市、三、鈴  
市、安、一、伊賀地方、伊、南) [会話] ヌクイ、あ  
ったかい ヌクタイのおを(のを) ヌクイ、ヌクタイ  
言うの。(のです) ヌクタイなあ 今日 は 言うて  
暖かい事を。

…(し) **ぬくい(難)**【接尾語】難しい(松、上、阿、  
北、尾、南、熊) [会話] シヌクイ 言うの(の  
です)。シヌクイ事を シヌクイ 言うね(言うのです)。  
こやまあ(此れは) どいらい(大変) シヌクイ、し  
のくうて 言うて。

**ぬくごぜん(温御膳)**。**ぬくごはん**【名詞】温かい御飯  
(飯、熊) [会話] ぬきたい 温い御飯を ヌクゴハ  
ン。そして なんでも(何でも) ぬくめとけ(温めて  
おきなさい) よけ(あまり) さめてかんよん(さめて  
行かないように) 言うたり。ぬくみ 言うと あった  
かみ(温、暖)。ぬくみな(が) 有るうちん(間に)  
しとかな(しておかなければ) 言うて。ぬくみな  
(が) あんの(有るのに) さめてかんうちん(さめて  
行かない間に) ぬきたいうちん 言うの(のです)。  
ぬくみの有るうち(間) 言うて。

**ぬきたい(温)**【形容詞】温い ぬくい参照(志摩市全  
域、鳥(堅神)、桑郡、桑市、三、四、鈴市、安、津、  
久、一、松、多、伊賀地方、度、伊)

**ぬくたまり**【名詞】日の当るあったかい所(志(浜島  
鶴方 神明 立神 国府 安乗)、阿、張) [会話]  
ヌクタマリい(へ) いて(行って)、日の当つとる  
(ている) 暖いとこ(所) い(に) いて、ひなた(日

向) い(へ) いて ぬくとまって来る ひなたで ひ  
なた ぼっこ しよおや(しましょう) とか、ぬくとまる  
や(たまりましょう) 言うて。

**ぬくたまる** あたたまる(志(浜島、鶴方、神明、立神、  
国府、安乗)、張) [会話] 暖たまる さぶい(寒む  
い) とさいご(その時)、ひなた(日向)で あぶつ  
てこおや(きましょう) とか、ヌクタマッテこおや  
言うてな。

**ぬくたみ** 1) 温かみ。温かい様。2) おこぼれ。[会  
話] 1) ひい(火)のヌクタミも まだ ほとり な  
る さけん なあ(暖かみが有るから) 言うて。

**ぬくためる** あたためる(張) [会話] あたためる、ヌ  
クタメル 言うね(のです)。ひと ぼか(少しの間)  
ぬくとめてくれまあ(下さい) 言うやん かい(言いま  
す)。

**ぬくて**【形容詞】温かくて。暖かくて。

…**ぬくて** 困難で、するのが難しい。

**ぬくとい**【形容詞】暖かい(志(志島)、桑郡、桑市、  
員、三、四、鈴郡、鈴市、安、津、一、松、多、伊、  
熊)

**ぬくとお(ぬくたう ぬくとう)** 温かく(桑郡) [会話]  
あたたこお(かく) しとれ(しておれ) 言うの(の  
を)、ヌクトオ しとれよお(しておりなさい)、ヌク  
トオ しとれよ 風邪 引かんよおん(に) 言うやん  
ない(言うでしょう)。

**ぬくとまり**【名詞】1) 日の当る所であたたまる事  
日なたぼっこ 2) 日の当る暖かい所(志(布施田)、  
北)

**ぬくとまる(温)**【自ラ五】温まる 温をとる 暖った  
まる(志(鶴方、神明、甲賀、国府、安乗)、鳥、伊  
賀地方、北、尾、南、熊) [会話] ヌクトマル 言うの、  
あたたまる 言うにげ(人間)も有るし、同じ意味や  
けどなあ そのにげ に依って。

**ぬくとみ**【名詞】あたたかい感じ、あたたかみ(南)  
[会話] ヌクトミ な(が) 有るうちん(間に) そやれ  
(それ) 喰えまあ(食べなさい) 言うて、あたた い  
(熱い) うちん はよ 冷めてかんうちん(て行かな  
い間に) 喰えまあ 言うてなあ。あたた い うちん  
食え(食べよ) 言うのをな ヌクトミの有るうちん  
食え 言うて。

**ぬくとめる(温)**【他マ下一】1) 温める 暖める ぬ  
くめる参照(志(浜島、布施田、鶴方、神明、立神、  
国府、安乗)、桑郡、三、四、鈴市、安、松、伊、北、  
南) 2) 温存している。大切にしている。[会話] 1) 飯

でも おつけ (味噌汁) でも、ちよいと (少し) スク  
トメル。冷たいのん (のに) 言うて。炊きなおすのを、  
ちよいと 沸すのを スクトメル 言うの (のです)。  
早いもな (者は) 先い (へ) 食べるし、おっそお (遅  
く) 起きて来たもんな (者が) 有ると さめとると  
(て居ると) 美味ないよって (から) ちよいと スク  
トメタレ 言うて。ぬくめるも、あたためるも 一緒  
の言葉や。(です)

**ぬくとまる (温) 【自ラ五】** ぬくとまるに同じ 温まる  
暖をとる ぬくとまるの訛 [会話] ぬくとまるも一  
緒、そのにげ (人間) に 依ってなあ スクトメルも  
言う。

**ぬくなる** 暖かくなる。(阿)

**ぬくぬく (温温) 【形容詞】** 食べ物などの出来てすぐ、  
未だ温かい物 (張、熊)

**ぬくまり (温) 【名詞】** あたたかみ ほとぼり [会話]  
スクマリな (が) 有るうちん (間に) 早よ (早く) 寝  
やんかれ (寝なさい) 言うて、風呂 いってなあ (入  
いって) 湯冷めな (が) こんうちん (来ない間に) ぬ  
くとまとると (ている) うちん 寝よ 言うのなあ。  
石布団の布団へ 寝とると (寝ていると) 冷とおてな  
あ (冷たくて)、かねこつとて (金属のように冷えて  
て) スクマリな (が) 無いね (無いのです)。布団や  
(だ) 言うてもなあ 新綿なら、入ると ぬくとな  
て (温かくなって) くんねけど (来るのだが)、石み  
たいな (のような) 石布団やもんで (なので) なんも  
(少しも) ぬくみな (が) 無いんやんかい (のです)、  
入ると 冷とおてなあ (冷たくて) 昔や ゆどり (囲  
炉裏) で あたつとる (温まっている) うちん きも  
ん (着物) ぬくとめ (温めておいて) 足 包ん  
で 寝よおったなあ (寝て居ました) 足 ぬくとめん  
のんなあ (温めるのに)。

**ぬくみ (温味) 温かみ 暖かみ ぬくもり** あたたかい  
程度 [会話] ぬくもりも スクミも 一緒や (で  
す)。あたた (熱い) も一緒や。あたたいわれ (熱  
いです) こや (此れわ) 言うの (のです) スクミな  
(が) あんのを (有るのを) あたた 言うの。あつ  
い (熱い、暑い) のおを (のを) あたた い 言うて。  
ぬくたい のおは (のは) ちよいと (少し) さめたほお  
な (です)、まだ スクミな (が) あられ (有る) 言  
うて。ちよいと なまぬるいな (のは) まだ スクミ  
な (が) あられ 言うて 完全に さめとらせん  
(さめて居ないのを) まだ ぬくたいわれ (暖い) そ  
のまま 食べよ (食べなさい) 言うて。

**ぬくめる (温) 【他マ下一】** 温める あたためる あつ  
たかくする (鈴市、安、津、上、張、南、尾)

**ぬくもり 【名詞】** 温かみ あたたかみ

**ぬくもりいただく** 下心を持って人にへつらい、おこぼ  
れを貰う。まいす参照 [会話] スクモリイタダク  
言うのは、まいす こいて (へつらつて) なんか貰ら  
お (貰らおう) 思う 下心な (が) 有るもんで (の  
で)、煽てて 普段にちよいと (少し) したごさえ  
(準備) すんのを (するのを)、そお し といて (そう  
して) ちよいと 恵ぐんでもらお (貰らおう)、ほと  
り (余分) を 分けて もらお おもて (思って) 下心な  
(が) あんのを (有るのを)。

**ぬくもる (温) 【自ラ五】** あつたまる (北) [会話] あ  
たたまる 言うのを スクメル。

**ぬけさく (抜け作) 【名詞】** 1) 作は人名らしく沿えた  
語。まぬけな人をあざけって言う語。2) よく物忘れ  
する人。(志 (浜島 布施田)、安) [会話] 1) スケサ  
ク あんどし (阿呆) のおを (のを) スケサク。

**ぬけさんぐ (抜参宮) 【名詞】** 隠れて他所へ行く事。官  
参りでない。[会話] 抜けまいりして来た言うて、抜  
けてくんのを (来るのを) 抜けまいりして来た 言う  
て。何処い (へ) でも、なつとも (何も) 言わんと  
(言わずに) 行くのを スケサングして来たよお 言  
うて。なんしよ (内緒) で 行くのを スケサング。

**ぬけた** 抜けていった、抜けてしまった。[会話] ぬ  
けてた 言うのをなあ、針さいたや (糸通したら) ス  
ケツタレ また さいてくれまあ (通して下さい) 言  
うて。

**ぬけてきた** 1) 雨が一時的に大量に降る、あけだすと  
も 2) 仲間、仕事などから知らない間に抜ける

**ぬけてた** 抜けて行った。抜けてしまった。[会話] な  
んしよ (内緒) で スケテタ言うて、家の人ら やら  
まい (行かせない) 言うのを。

**ぬけまいり 【名詞】** 隠れて他所に行く事。ぬけさんぐ参  
照 古へ伊勢神宮に臣民の私幣するを禁ぜられた事よ  
り起りた語。(大言海) (志 (布施田)) [会話] 知ら  
んとおるうちん なあ (間に)、何処い (へ) でも 出  
てくと (出て行くと) スケマイリしてて (して行っ  
て) おらせん (居ない) 言うてなあ。神さんやなしん  
(でなくて) 何処い (へ) でも、なつとも (なんとも) 言わんと  
(言わずに) 行くとなあ スケマイリして  
てまあ 言うて。人と 行きたないもんでなあ (行  
きたくないので)、わがと (自分) だけ スケマイリ  
してくねやんかい (して行くのです) 人ん (に) 言う

と、わしも (私も) 連れてて (連れて行って) 言うよ  
って (から) 連れてかな (連れて行かなければ) はざん  
やんない (いけないでしょう)。そすと 連れてたら  
(行ったら) はざん (いけない) とこな (所が) 有る  
もんで (ので) そいな (そんな) 時や (は) なっとも  
(なんとも) 言わんと (言わずに) ヌケマイリ。

**ぬけみち** (抜け道) 【名詞】 本道以外の近道。間道。逃  
げ道。人にかくれて行く道。(志) [会話] おや (俺  
は) 近道行くわ (行きます) 言うね (言います)、ヌ  
ケミチする事を 近道して。

**ぬける** (抜ける) 【自カ下一】 1) ひそかに家を出る。  
家出する。(上、阿) 2) 中に有る物が自然に外に出  
る。3) 所属する所から自分から離れる。ぬける。逃  
げ出る。のがれ出る。4) すぐれて居る。賢い。  
(飯) 5) 大雨が降る。(志 (鶴方、神明、立神、志  
島、甲賀、国府、安乗)、鳥) 6) 馬鹿だ [会話]  
3) 抜けさしてくれえ (抜けさせて下さい) 言うて、な  
んえでも (何にでも) 入って やめさしてくれ (やめ  
させて下さい) 言う事を。やめたい思うと 抜けさし  
てくれえ 言うて。どこやかや (何処かへ) 秋 (秋の  
収穫) やたら (とか) 茶山やたら (とか) 言うの (の  
を) 家の もんら (者は) 行くな行くな 言うもんで  
(ので)、それヌケテ いたりすんのも (行ったりす  
るのも) ヌケテク (ぬけて行く)、それを 言うんや  
んかい (言います)。ヌケル 言うて、なんしよ (内  
緒) で ヌケル。朝鮮へも 家ん (の) 人ら やらま  
い (やるまい) 言うやんない (言うでしょう)、そす  
と (すると) 荷物は てまえ (手前、前もって) せご  
し (といて (移しておいて) 体だけ うくってくよおん  
(送って行くように) して行くのを ヌケテタ。ヌケ  
ル朝鮮へ迄 言うて、よお (よく) 言いおった (言  
っていました)。ヌケテきおったの (抜けて行ったの  
です) 家の人ら やらまい 言うて、わがと (自分  
行きたいと 抜けて来たねえよお (のです) 言うて。  
せごす ほかい (他の所へ) 荷物を 隠しといて (て  
おいて) 家の人ら ん (に) みやれんうちん (見つから  
ない間に) ちょいちょいつ (少しづつ) 隠しといて  
(ておいて) 行く時 ん (に)、その人らと一緒に び  
んしよ (同伴) もるて (貰って) 体だけ うくりど  
(送り人) みたよん (のように) して行くの (のを)  
ヌケル 言うて。

**ぬし** 【名詞】 1) 主人 2) その中で主になる人 3)  
持ち主 [会話] 1) 家のヌシは せしゅ 言うやんか  
い (言います)。

**ぬすた** 盗人は

**ぬすだ** 盗んだ [会話] しなもん (品物) でも こお  
た (買った) 事な (が) 分からんと、ヌスダ (盗すん  
だ) もん (物) やら (か) もおた (貰った) もん  
やら (か) 分からへんない (分からない) 言うて。

**ぬすった** 盗人は

**ぬすつと** 【名詞】 盗人 ぬすと ぬすびと 他人の物を  
盗む人 泥棒 ぬすびとの急呼音 (志 (片田、布施田、  
畔名、志島)、鳥 (坂手、加茂)、桑市、員、三、鈴郡、  
鈴市、伊賀地方、度、伊、尾、南) [会話] ヌスツ  
トよ (奴)、そこな (の) ヌスツネカ 言うて。ね  
か (猫は) 盗み喰いするもんで (ので) ヌスツ猫よ  
言うて、わり (悪事) 事すると わるう (叱る) 時ん  
(に) ヌスツネカ あや (彼は) 言う (言います)。  
ヌスツネコやたら (とか) ヌスツよ 言うて 喧  
嘩したりすると 一番わり (悪い) 事やもんで (なの  
で) ごおなわいた時ん (腹が立つ時に) ヌスツよ  
言うて。おや (俺わ) なん (なにを) ぬすでえ (盗ん  
だのか) 言うて よお (よく) 喧嘩しよおったやんか  
い (して居たで有りませんか) ちっさい じばん (小  
さい頃に)。ヌスツ 言うな (のは) 盗人 泥棒の  
事 ヌスツよ 言うて。

**ぬすつとかぶり** 【名詞】 手拭のかむり方 頬かむり  
(志) [会話] ヌスツカブリ。めえ (目) だけ出す  
の (のを)、めえ だけで 鼻い (へ) ちよかけて  
(ひっかけて) ほっかぶり (頬かむり) をなあ、鼻の  
下 い (へ) しゅつと 結ぶとなあ ヌスツカブリや  
(だ) 言うて。

**ぬすつとぐさ** 【名詞】 いのこづち。ヒユ科の多年草。高  
さ90cmに達す。茎は四角柱で節の部分が太い。葉  
は長さ5~15cmの随円形で先が光る。夏から秋に  
かけて茎頂及び、葉腋から細長い穂を出し淡緑色の小  
さい穂をつける、実を包む苞と外側のがく片は先がと  
がった針状でこのため実衣服等につきやすい。

**ぬすつとこじき** 【名詞】 盗人 泥棒を卑しめて言う 隠  
し食いをする人 [会話] ヌスツコジキや (だ) 言  
うてなあ、ごおなわいとる (腹が立っている) 時やな  
あ (は) 有る もん (物) を こそこそこそと  
と (取っていつて) 食べとるやんない (ているでし  
ょう)、そすと ヌスツコジキや (だ) 言うてなあ、  
ヌスツコジキや (は) なんでも (なにでも) あえん  
(あんなに) もてて (持って行って) くろたんねない  
(食べてしまうのだ) 言うてな、盗すんで食べるもん  
でなあ (ので) ヌスツコジキ 言うの なあ (です)。

**ぬすつとこび**【名詞】盗人 泥棒

**ぬすつとこんじよ**【名詞】盗人根性。盗みをする癖。

**ぬすつとにおい** 泥棒に追い銭 損の上に更に損を重ねる事 [会話] ヌスットニオイやあれ (だ) 言うやん かいなあ (言います)。なんやかや 盗られたてなあ (てしまつて) そして、うちやられたたり (壊されてしまつたり) するとなあ ヌスットニオイやなあ (だ) 言うて。損の上い (へ) 損な (が) 行くもんで (ので) ヌスットニオイやなあ 言うて よお (よく) 言うんなあ (言います)。

**ぬすつとねこ**【名詞】1) 野良猫 (南) 2) 盗人をいやしめて言う語 (北) 3) 人をののしる語 (北) [会話] 1) ヌスットネコ 言うな (のは) 猫の事なあ (です)、猫あ (は) 魚でも なんでも (何でも) ぬすで (盗んで) 喰うもんで (ので) ヌスットネコや (だ)、そこらん (に) 放つて有ると あや (あれわ) ヌスットネコやれ (だ) 言うて、家の飼猫とちがわれ (違う) 言うて。野良猫の事を ヌスットネコや (と) 言うて。 3) そして ヌスットネコ 言う時は 相手を ごおわ かして (腹立てて) 言いよお (言う事、方法) な (が) 無いと ヌスットネコやたら (とか) ぞぶくろ 猫 やたら 言うて。

**ぬすつとのはてなし**【名詞】盗人の果無し。大泥棒。

**ぬすつとはぎ**【名詞】1) 人をののしる言葉 2) 植物、ぬすびとはぎ マメ科の多年草。高さ1mに達することが有る。木質のかたくて太い根部分から多数の茎が直立又は斜上、葉は長柄があり、茎にまばらに互生。三小葉からなる。小葉は卵状の菱形で長さ4~8cm夏から秋にかけて淡紅色の蝶形花をまばらにつける。豆果は柄が有り、節により二つの分果に分かれる。しのび足をする泥棒の足跡に豆果の形が似ているのでこの名が有る。[会話] 1) あしこの (あすこの) ヌスット ハギな (が) 言うて 憎くたらしい人を ヌスット ハギよ (奴) 言うて。

**ぬすつとやる**【名詞】泥棒。盗人野郎。(志 (甲賀))

**ぬすで** 盗んで [会話] 桃なつとんのおを (なっているのを) なんのこなしん (ひょいと) ヌスデ 懐い 入れたや (入れたら) はしこおて (はしかくて、痛痒くて) はしこおて、えげつて (いやになつて)。

**ぬすでく** 盗んで行く [会話] こねくつて (引つ掻きまわして) 捜して ヌスデク。

**ぬすでた** 盗んで行った 盗って行った [会話] 盗まれたると (てやると) 此処ん (に) 置いて 有つたや (有つたら) 無いよおん (ように) やられたたなあ、

あんな (彼が) 通つたよつて (から) やつてたんどお (のだ) 言うて ヌスデタ 言わんと やつてた。

**ぬすと**【名詞】盗人。泥棒。(志、鳥、三、津、一、松、多、張、伊、尾、南、熊)

**ぬすびとぐさ**【名詞】いのこずち ぬすつとぐさ参照 (志、鳥、伊)

**ぬすみ** (盗)【名詞】ぬすむこと 又その行為 人の物を無断で取る事。[会話] ヌスミする、あのひた (人は) 手癖な (が) わりいて (悪るくて) ヌスミしてなあ、ヌスミな (が) 商売みたよな (のような) 人やなあ (だ) 言うて、よお (よく) 言うやんかい (言います)。ヌスミ あんまり (沢山) する人な (が) みんなに (皆に) 掴められたら えらいめえん (大変な目に) 逢うもんで (ので) 鑑札もろて (貰らつて) もつとや (持っていれば) けんたいん (堂々と) 入られるよつて (から) 鑑札 貰ろて (貰らつて) 来い言うたや (言つたら) 鑑札 くれてなあ。そしたや (そうしたら) くれる人も 考えとるわい (しています) 六尺 真つ角の鉄の板やよつて (だから) そげな (そんな) ええ (よい) 鑑札あ (は) 無いわい (有りません) それ持つとや (持っていれば) よおいごかんし (動けないし) 何 持つたてて (ても) しれとるわい (少しです)。

**ぬすみぎき** (盗聞)【名詞】ひそかに立ち聞きすること [会話] ヌスミギキ 言うて、外で そおつと 聞いとるやんない (ているでしょう) 内緒でなあ 立ち聞きしたりしてなあ ヌスミギキ しとて (して) まあ 言うてな。

**ぬすみぐい** (ぬすみぐひ) (盗食)【名詞】1) 人に隠れてひそかに物を食うこと 2) 他人の妻と性交する事。奸通 [会話] 1) 其処ん (に) 有るもん (物) を 人の見とらん (見ていない) うちん (間に) ま、はよ (早く) 食たれ (食べてやれ) おもて (思つて) ぬすで (盗んで) 食うとんの (食べているのを) ヌスミグイ してまあ 言うてなあ、そやれ (それ) 口ん (に) 付いとる (ている) やんかあ (でないか) ヌスミグイ したかして (したと見えて) 言うて。

**ぬすみぎけ** (盗酒)【名詞】人にかくれて飲む酒。

**ぬた** (鰻) **ぬだ**【名詞】1) 料理のあえ物の稱 (志 (布施田) 2) 柔らかくなった状態 [会話] 2) ヌタ なんもかも (すべて) ヌタン (に) したたない (してしまつた) 言うて、踏んだり 叩いたりすると ヌタン しとんない (して居る) 言うし (言います)。1) 鰻を骨 抜い といて (ておいて) ヌタン (に) して 喰を

やんかれ (食べましょう) 言うて 言うやんかい (言います)。鯛のヌタや (だ) 言うて くたくだん (柔らかかく) なつてくの (なつて行くのを) ヌタや (だ) 言うのなあ (言うのです)。なんでも 踏んだり 叩いたりして くたくだん (に) なつとると (なつて居ると) ヌタンしたたなあ (してしまった) こやれ (これは) 言うて。

**ぬたわら** 【名詞】 柔らかくなった藁 [会話] 山の神に供えた 藁を、男の子らな (が) どづいて (叩いて)、そすと (すると) さいわら (打ってないそのままの藁) で してあんのな (あるのが) ヌタワラ みたいん (のように) なつて。

**ぬっからかす** 1) 言うの卑語 2) 一部忘れる 落す 抜かす (安) [会話] ヌッカラカス 言うのは 一つつつ (一つづつ) 忘れといて (ておいて) 行くのをなあ。落しといて (ておいて) いたり (行ったり)、見落ししたり すると 一つ ヌッカラカシテ来たか して (と見えて) こやれ (これ) 言うてなあ。縫うとこ (所) でも ひととこ (一ヶ所) 縫わな (なければ) はざんの (いけなのを) ヌッカラカシ といて (ておいて) 縫う時な (が) 有つてなあ、ま ヌッカラカシタよお 言うてなあ。<sup>1)</sup> なん (何を) ヌッカラカスねど (のだ) 言うて 何を 言うねど (言うのだ) 言うのを なにぬかすんど (言うのだ) 言うて無理な事 言うとなあ。

**ぬっぺらぼん** 【名詞】 【形容詞】 表面が平で滑らかなさま すべつ [会話] すべつとして 瓜実顔の角もなんも (少しも) 無いよおな顔なあ (です)、瓜の種みたよな (のような) 細長い顔、いきよい (勢い) の無い、そんだい (その代り) 器量は ひよいと見たな (のは) ええねけど (よいのだが) そやけど (しかし) なんやら (なにか) たくましとこの (所の) 無いよおな顔しとる (している) にげ (人間) なあ (です)、おおた ヌッペラポン みたよな (のような) 顔 やわ (だ) おもて (思つて)、やいき (勢い) な (が) 無いよおな顔しとると (していると)。

**ぬまだ** (沼田) 【名詞】 沼のように泥の深い水の多い田 (志 (磯部、鶴方、神明、立神)、鳥 (加茂)、員、伊) [会話] ヌマダ 言うな (のは)、やいこい (柔らかい) たあ (田)、腰までも 入つてく たあ (田) な (が) 有つて ヌマダ、どろどろの 沼みたよな (のような) たあ (田)。ヌマダイ (へ) 足 突っ込んだぐらいで ま 抜き差しならせんわれ (ならない) 言うやんかいなあ (言います) 借金したると (し

てしまう)。

**ぬめり** (滑) 【名詞】 ぬめり 粘液 ぬめり参照

**ぬやげ** (縫上) 【名詞】 縫いあげ 着物の肩や腰の部分に上げをする事 又そのあげ (伊賀地方) [会話] ヌヤゲ 言うね (言うのです) 縫上げ 言うのを。ヌヤゲも 落したて (てしまつて) 言うて はじいたると (切つてやると) みつともない (見苦しい) ヌヤゲも 落して 言うて。縫上げ 言や (言えば) ほんど (本当) の言葉やけど (だが) ヌヤゲや (と) 言う。(言います)

**ぬらかす** (濡) 【他サ五】 ぬらす (桑郡、桑市、員、三、四、鈴市、安) [会話] しめす事を 濡したて (てしまつて) 言うて、水でしめた た (しまつた) 言うのを ヌラカス 言うて、濡れたとか 濡れてた (しまつた) とか 言うて。

**ぬらんでこ** 【名詞】 器量の良い人 [会話] 器量がよ過ぎて 瓜実顔の人見ると ヌラデコ みたいなあ (のようだ)。

**ぬりぐすり** (塗薬) 【名詞】 薬物を液状または粘性の軟膏に混和したもので患部の皮膚に塗る薬 [会話] ヌリグスリ てえ (手) で ぬんのをだ (塗るのを)、先生 阿呆い つける薬 くれえ (下さい) 言うて、つける薬や (は) 無いわれ (無いです) 言うたや (言つたら)、なけな (無ければ) 飲み薬くれえ 言うて、つけたり 塗つたり 今しや (今は) するよつて (から) じっきん (すぐに) 治つてなあ、足な (が) いとおても (痛くても) 飲む 打つ 鍛冶屋で 飲んだり 打つたり 塗つたり すんのなあ (するのです) さんぼお (三方) せめんねよつてなあ (せめるのだから)。

**ぬりげた** 【名詞】 漆の塗つてある下駄 (多) [会話] ヌリゲタ 言うななあ (のは)、立派ん (に) 塗つて有る下駄な (が) ありよおつたね (有つたのです)。くうろお (黒く) 塗つたりな、どいらい (大変) 伊達こきのもな (者は) あれ 履きよおつたわい (履いていました)。さしげた、塗つてあんのなあ (有るのです) さきがわ (先革) 付けてすると どいらい (はいからでなあ) 伊達こきな (です)。漆な (が) 塗つてあんね (有るのです) 低下駄いも (にも) 塗つて有るしなあ 高下駄いも なあ、はいからのひた (人は) ヌリゲタ よお (よく) 履きおつたの (履いて居たのです)。子供の時にや (には) ヌリゲタ 履きよおつたなあ (履いて居ました) あっこお (赤く) 塗つたり いろいろ塗つてあんのな (有るのが) はやよおつてな

あ (流行して居ました)。

**ぬりたくる (塗)** 【他ラ五】 やたらに塗る 厚く塗る [会話] 白粉ヌリタクッテまあ おしろいがめ (畫) から 出て来たよん (ように) しとんない (している) 言うて、じい (地) な (が) くろい (黒い) のおえなあ (の)に 白粉 塗るよって (から) べつんも (特別に) 目立ってなあ、じぐろい (地黒) のえ (の)に ぬんねよって (塗るのだから) 上手ん (に) 肌ん (に) あわして (あわせて) する 美容師や (は) ええけどなあ (よいが)、しろお (白く) しや (すれば) ええわ (よい) おもて (思って) ヌリタクルとセメント会社から 出て来たよん (ようだ) 言うて、厚く塗る ぬりまくんのなあ (るのです) ヌリタクッ トンナイ (ている) 言うて。

**ぬりばし (塗箸)** 漆を塗った箸。

**ぬりまげもん** 【名詞】 漆を塗った曲物 (志) [会話] ヌリマゲモン 言うて、漆で 塗って有る 桧のまげもん。白木のおを (のを) 普通は持つけど (が)、塗ってあんのな (有るのが) 有ってなあ、そや (それは) ちよいと (少し) ええとこ (よい所) へ行く時んなあ (に) もてくのん (持って行くのに) 漆塗りんのおは (の)のは とつといて (しまつて) あつてなあ、何処や彼やい (に) 人のよけ (沢山) 行くとこ (所) へ 行く時やなあ (です)。

**ぬりもん (塗物)** 漆を塗った器物 (三、鈴市、松、伊、尾) [会話] ヌリモンは てえねん (丁寧) に せな (しなければ) 言うて、塗って有る 椀や、お櫃やどけも (なども) あよおつたわい (有りました)、あんまり (あまり) 熱いゆう (湯) で 洗わんと (洗らわずに) ぬるま湯で 洗ろて (洗らつて) 扱いを てえねん (丁寧) に せえ (しなさい) 言うて、あんまり 熱いのおで (ので) すると 割れてくもんで (て行くので) なまぬるい 人肌で 洗ろといて (洗らつておいて) 絹の布で 拭いてなあ さらして (陰干しして) じっばん (立派に) して、うるしもん (漆物) は てえねんにせえ 言うて、そやよって (だから) ヌリモン あつこた (扱かつた) 事な (が) 無いもん (者) に 扱かわすなよお 言うて。

**ぬるい (温)** 【形容詞】 1) なま温かい 2) 鈍い のろい (南) 3) 傾斜や風などの程度が緩やかだ 4) 冷たい 5) することが締まらない 6) 潮の流れが少ない。[会話] <sup>1)</sup> 風呂な (が) ヌルイわれ (です) 言うて、風呂な (を) もおちよいと (少し) 焚いてほし (欲しい) 時や もおちよいと ヌルイよって (か

ら) 焚いてくれまあ (下さい) 言うし (言います)。

<sup>5)</sup> 綱な (が) 弛るても (弛るくても) そや (それ) ちよいと ヌルイやんかあ (です) しよおね (性根、気合) 入れえまあ (入れなさい) とか 言うて、だるんどると (弛るんで居ると) ヌルイやんかあ (です) 言うて 性根入れえまあ 言うな (のは) ちよいと 引つ張れまあ (引つ張りなさい) 言う (言います)。 <sup>3)</sup> 坂も こや (これは) ちよいと 傾斜な (が) ヌルイなあ 言うて、きつ坂 (急坂) ん (に) なつとると (て居ると) おおた (ああ) こや (これは) どれらい (大変) きつ坂や (だ) 言うし、ちよいと なるいと (緩いと)、此の坂 ヌルウテ (ぬるくて) ええなあ (良い) 言うて。風でも 風な (が) やんで とろつとなつたとこ (所) 西の風も ちよいと (少し) ヌルダナア 言うし。 <sup>6)</sup> 潮な いとんのおな (潮流が早いのが) ヌルムと 潮な (が) ヌルデ がいな (大変) 海な (が) 光つて来たれ (来た) 言うて 潮の流れが、ゆっくりなる。

**ぬるくた** 【形容詞】 ぬるいもの 熱く無い物 冷めた物 [会話] こえん (こんなに) 冷めとんな (ているのは) 旨ないわれ (です) ヌルクタやれ (だ) こや (これは) 言うて、年寄り 熱い (のが) 好きやもんで (好きなので) ちよいと (少し) ぬるいと おた こや ヌルクタやんかあ (でないか) 言うてきよおつた (言つて来ました)。

**ぬるくたい** 【形容詞】 温度が下っている 冷たい 動作が手ぬるい (三、鈴市、安、松、多、尾、南、熊) [会話] ぬるい言うのを ヌルクタイ、風呂な (が) ヌルクトオテ (たくて) さぶ (寒む) かつたよお 言う時も 有るやんかい (有ります)。 おつけ (味噌汁) ヌルクタで なんも (少しも) うまねえわれ (旨くない) ふうふうと吹きもて (ながら) 食うな (のは) 旨いけどなあ (が)、こえん (こんなに) 冷めとんな (ているのは) 旨ないわれ ヌルクタやれ (だ) こや (これは) 言うて、年寄り 熱い (のが) 好きやもんで (なので) ちよいと (少し) ぬるいと こや (これは) ヌルクタイやんかあ (だ) 言うてきよおつた (言つて来て居ました)。

**ぬるだ** 1) ぬるくなつた、冷たくなつた ぬるでた参照 2) 潮流が緩くなつた

**ぬるでく** 温度が下り冷たくなって行く [会話] 冷めてく (て行くを) 言うの (のです) ヌルデク。そやまあ (それ) 風呂も はよ (早く) いらな (入らなければ) ヌルデクやんかあ (でないか) 言うてなあ、早

よ 次から次い(へ) いったや(入ってやれば) ええけど(よいが) まあ 焚かん(焚かねば) ならん(ならないのに) 言うてな。

**ぬるでた** 1) 冷めていった。2) 潮の流れが遅くなった。[会話] 1) 冷めてた(ていった) 言うの(のを)、ヌルデタ 言うの(のです)。2) そすと(すると) 磯い(海女に) 行てもなあ(行っても) 潮な(が) 速いのおな(のが) やまと(おそくなると)、潮な(が) ヌルデダ はよ(早く) ヌルダうちん(間に) かずかな(獲らなければ) 言うて。ヌルデタ 言う時は、熱い物が 冷めた時と 潮の流れがゆるむ。潮な(が) そこりん(に) なると とごつてくのなあ(よどむのです) 潮な(が) 速いと 骨な(が) 折れて かずかれやへんのなあ(獲れないのです) 流されて(て行って)、わがと(自分の) 思う とこい(所へ) 行かれやせん(行けないのです)。そやもんで(それで) 潮な(が) ぬるむ(のを) かんまえて(待ち構えていて) 沖い(に) でよおった(出ました)。

**ぬるぬる** 【副詞】 1) 水気が有ってなめらかで滑りやすいさま 粘液状の物がうごめくさま 2) 柔かくて握らうとすると抜け出るようなさま [会話] 2) ヌルヌルしとんなあ(して居る) 言うて、なんでも なめったもん(粘った物) 見ると ヌルヌルしとんなあ こや(此れわ) 言うて。海鼠や鰻 掴んだ時も ヌルヌルして 気持な(が) わり(悪い) 言うて。

**ぬるまゆ** (微温湯) 【名詞】 1) 温度の低い湯 熱くない湯 2) 動作の鈍い人 [会話] 2) のろまよ 言うて ヌルマユ 言うのも 有るし。

**ぬるむ** 【自マ五】 1) ぬるくなる。温度が下る。2) 気温が上がる。厳しさが無くなる。寒さもぬるで来た。3) 潮流が遅くなる。ゆるむ

**ぬるめる** (温) 【他マ下一】 熱い湯などに水を加へ温度を下げる うめる [会話] 水 さいて(加えて) ヌルメル。冷めとお(たく) する、風呂や(だ) とか、食う物なら ゆう(湯) うめえ(加えよ) 水で ヌルメル 言うて。

**ぬれえん** (濡縁) 【名詞】 縁側 雨戸の敷居の外に作った縁。雨に濡れるにまかせる事から。[会話] 座敷の先いなあ(に) ヌレエンな(が) 無いとさいご(その時)、しぶち(しぶき) な(が) 掛って ヌレエン付けとると(していると) また がいん(大変) ええね(よいのです)。それい(に) 登つ といて(ておいで) 行て 置い(に) すぐん(に) 登らんで(な

くて) ええやんない(よいでしょう)、そやもんで(それで) なんも(なにも) 無いとか(所は) ヌレエン 付けとくと(ておくと) 量も 汚れんで(なくて) ええし(よいし)、人な(が) 来て 話 すんのも(するもの) ちよいと 腰かけて 座敷い(に) 入らんで ええし なあ、巾 一尺 ぐらい なあ(です) ちよいと(少し) 足掛ける だけ やよつて なあ(だから)、あんまり(あまり) ひいろお(広く) はしやせんけど(しないが)。

**ぬれしろ** (濡代) 【名詞】 乗り組みの全漁師に出す奨励金(志、鳥)

**ぬれぼとけ** 【名詞】 ずぶ濡れの状態。屋根の無い所の佛様は雨が降ると濡れる事から。

**ぬんた** 【名詞】 馬鹿(志(片田、越賀、布施田)) [会話] ヌンタラタンの あんたらたんよ(奴) 言うて、あんどし(馬鹿) のおを(のを)。あんたらたん 言う人も有るし ヌンタよ 言うて、ヌンタラタン 言うて。ヌンタ 言うて わるわれると(叱られると) 阿呆 言う穂な(が) 出たわい(出ました) 言うて、口答え しよおったてや(して居ました)。ヌンタマロ、ヌンタマツ 言うて そこな(そのの) ヌンタマツよ(奴) 言うて あんどし(馬鹿) と(だど)。

**ぬんたのつじがみ** 【名詞】 馬鹿 つじがみは頭をつむじ。旋毛。[会話] ヌンタノツジガミ 置いたよおな(ようだ) 言うて、ちよいちよいつ(少しづつ) もり(凹凸) な(が) あると。ヌンタノツジガミよ 言うて よお(よく) 子らら(子供) わるう(叱る) 時ん(に) 言よおったね(言って居たのです)。賢いもん(者) はなあ、真ん中に つじ(旋毛) な(が) 有ん ねけど(有るのだが)、あんどし(馬鹿な) もん(者) は ちよいと(少し) よこちよ(横) に 有るし。

**ぬんたまつ**、**ぬんたまろ** 【名詞】 馬鹿(志) [会話] ヌンタマツよ 言うのをなあ ヌンタマツのはてなしや(果てなしは) 言うてなあ、あんどし(馬鹿) のい(なのに) わあ(輪) 掛けとんの(ているのを)、ヌンタマツ 言うのなあ 唯の阿呆やなしん(でなくて) まあ それより以上 まだ あんどし(馬鹿) のおを なあ(なのを) ヌンタマツ 言うね(言うのです)。

**ぬんたらたん** 【名詞】 馬鹿 ぬんたに同じ ぬんた参照(志(布施田))

**ぬんどけ** 脱いで置け [会話] 昔は皆のおどけ(脱いでおけ) やなあ(です)、ヌンドケ 言うな (のは) 今

しやわい (今です)

ぬんね 塗るのだ 塗ります [会話] 壁 ヌンネ 言うて、顔い (へ) 白粉すんのをなあ (塗るのを)。

ぬんの 塗るのです [会話] 壁 塗ります 言うの (のを)、壁 ヌンノ 言うて。そして 白粉すんのでもなあ (塗るのでも)、壁 ヌンノ 言うてな 顔い (へ) 白粉すんのをなあ (塗るのを) 壁ぬろや (塗りましょう) 言うてな、壁ぬんねんなあ (塗るのです) あのひた (人は) 言うて。